

問 国は、道路中期計画で「国際競争力の確保、地域の自立と活力の強化、環境の保全等に資する既存高速道路の有効活用」とし、県は「長期ビジョン」「ゆとりとチャンスの埼玉プラン」で、圏央道周辺地域の産業集積を進める絶好のチャンスとしている。三芳スマートIC大型車導入となれば、国際競争力、物流の効率化など、国家的政策にいやおうなしに巻き込まれるのではないか。

答 総合政策室長 具体的な情報は得ていない。スマートIC「SPA接続型」制度実施要綱の地域活性化という点では、三芳町総合振興計画で「(仮称)三芳バザール賑わい公園」道の駅構想について、具体化を検討とある。大型車導入と



トイレ等の整備が待たれる富士塚公園

問 係で位置づけが変化することは必ずではないか。

答 総合政策室長 町の都市計画マスタープランにはなく、懸念は当たらないと思う。

問 三芳PAは、人々の

三芳スマートIC大型車導入 住民生活に重い負荷 富士塚公園にトイレ・木陰・遊具等を

日本共産党 光下重之

問 富士塚公園にトイレや樹木、砂場等遊具の増設の声が多いがどうか。

答 町長 隣の富士塚公園にトイレを工夫させた。その他は、区画整理を早期に進めるので、時間がほしい。

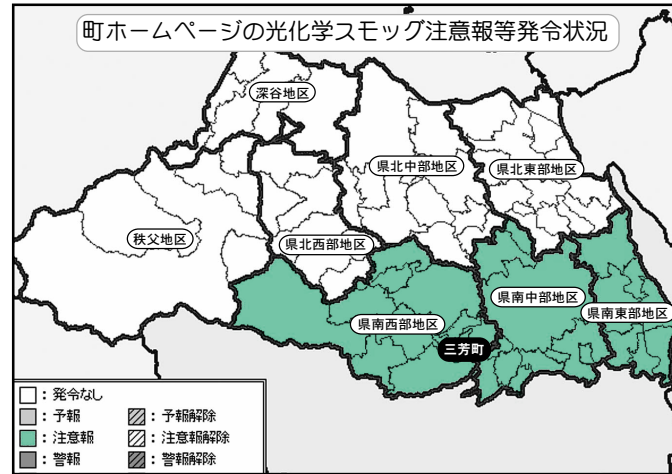
暮らしに密接したところにある。国道も住民生活の営みの中にあり、アクセス道路も三芳町では通学路、ふじみ野市は住宅が密集している。大型車導入は、環境への負荷、住民生活への負荷、財政の負担など、大きすぎるのではないか。やめるべきではないか。

答 町長 危惧することはないが、町の活性化の点で流通関係が圏央道に出ていかないと、生き残り戦が始まったと思う。理解してほしい。

富士塚公園の充実を

町内の足(公共交通)は協働の まちづくりで検討を 光化学スモッグ情報の広報再開へ

ネットワーク三芳 神田順子



問 以前、光化学スモッグ注意報を防災無線で知らせていたと思うが。

答 自治環境課長 大気汚染が深刻だった時、警報以上に広報車を出したが、防災無線の利用は確認できていない。現在、町内の小中学校、保育所、幼稚園等に連絡している。

問 黄砂とともに汚染物質が飛来することや、温暖化などで光化学スモッグの発生が増えている。施設への連絡と、防災無線でも知らせるべきでは。

答 自治環境課長 近隣で実施している。その方向でできれば、検討する。

問 健康被害が分かるには情報がある。来月から4月頃の町広報紙掲載は。

答 自治環境課長 併せて検討する。

問 藤久保の都市計画道路の整備が進んでいる。ほぼ平坦で15.3kmと狭い町内に、スーパー・病院・福祉施設・数多くの企業・農家や多彩な公共施設がありながら、それらを結ぶ足がない。

誰もが町内を自由に動けるよう、「協働のまちづくり」で時間をかけ、広く検討したらと思う。

費用負担は出張所・地域福祉バス・ぬくもり健康入浴やバス会社への補助金等を(総額1億円を越す)見直すこと、利用団体、住民からの出資も視野に入れたらと思う。行政の費用負担をどう考え、公共交通の検討は。

答 町長 道路完成後にライフバスの導入をしたが、決定権はバス会社にある。まだ論ずるのは早い。別途、公共施設間を循環する便(車種・停留所含め)は、既に外部の協力(無償)で検討してもらっている。実現可能かは結果待ちだ。

交通機関は充実させているが、いろいろな面からまちづくりをする。

既に検討を依頼中!

日本共産党 吉村美津子

社会保障の充実と実施時期について 上富小の学童保育室設置は来年4月か

問 中学1年生から3年生の入院医療費無料化はいつから始めるのか。

答 こども家庭課長 早い時期に行いたい。

問 子ども医療費の窓口払いをなくすことも同時に考えるべきではないか。

答 こども家庭課長 前にも質問を受けているが、今すぐには考えていない。

問 介護保険制度で草加市・越谷市は減免規程をつくっているが、当町でも具体的に検討は。

答 高齢者支援課長 研究してみたい。

問 介護保険利用料が4分の1から2分の1助成となるが、実施時期は。

答 財政課長 時期については、いま検討中だ。

問 妊婦健診について、日本共産党衆議院議員は、衆院外務委員会での14回の支援を求めた。

当町の7回の妊婦健診無料化の実施時期は。

答 町長 もう少し時間がほしい。



学童保育室設置が望まれる上富小学校

問 上富小学校に学童保育室が設置されるが、来年の4月より入ることができると思っていますか。

答 こども家庭課長 その方向で進めていきたい。

問 指定管理者制度は問題

問 町民の税金でつくった「公の施設」が、法改正に伴い、民間企業が管理者となつて儲けていくことが可能となった。総務省調査では、株式会社よりも公共的団体への管理者指定が多い。これは、安全性や持続性の面で、営利企業が公共的団体よりも劣っていることが明らかだからと思う。当町の3つの施設の管理は、公募せずに社会福祉協議会で継続するようすべきでは。

答 総合政策室長 そのような方向で考えたい。

みんなの 請願 ライフバス運行を求めます

請願者：桜井厚子 ほか 540名
紹介議員：山田政弘・内藤美佐子

この請願は、6月2日の本会議で総務建設常任委員会に付託され、6月3日全委員並びに議長出席のもと、審議いたしました。

審議結果

高齢化により、早急に町全体の交通問題を見直すことが望ましいとの結論に達し、**全会一致で「採択すべきもの」と決定した。**

意見

今後の交通弱者対策の請願として受け止め、早急に路線変更等が必要との意見が出された。

主な質疑

① ライフバスに限定しなければいけないのか。
② 当地域とは、具体的なエリアは。
③ 路線変更、新路線、交通事情によりライフバスを使えないのではないか。また、請願の地域だけではなく全体として考えてかまわないか。

請願趣旨

当地域において、住民の交通手段であるバスが運行していないことは、大きな負担となっている。
ぜひとも、ライフバスの運行をしていただきたく、請願する。

はじめに、紹介議員の山田政弘議員より、請願第1号「ライフバス運行の請願について」の趣旨説明があり、その後、質疑を行った。

その後、自治環境課長より、三芳町のライフバス利用人数、近隣市の状況等の説明があり、質疑を行った。